日本赤十字社高知県支部救護班　第９班活動記録

班員名簿

職名	役割	氏名
第三内科部長	医師	岩村　伸一
本館５階病棟看護係長	看護師長	大崎　君子
本館７階病棟看護係長	看護師	毛利　まき子
南館５階病棟看護係長	看護師	山本　由香
企画課長	主事	柏井　世次
臨床工学技術課　臨床工学技士	主事	西森　貴司
日本赤十字社高知県支部　事業推進課長	主事	柚村　誠

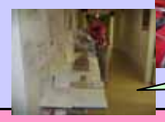
活動期間４月１５日（金）～４月２０日（水）

日付	時間	活動内容
4月15日（金）	8:30	病院第一会議室にて出発式(高知龍馬空港へ)
	10:15	空港発(ANA機内で客室乗務員の皆様から応援メッセージを頂く)
	11:30	羽田空港着　空港ロビーにて昼食
	13:00	羽田空港発→秋田空港へ
	14:05	装備確認後、秋田空港を出発(2台に分乗)
		秋田道→東北道→古川→国道108号線→石巻
	19:40	石巻赤十字病院到着
		災害対策本部へ到着報告後、オリエンテーションを受ける
	21:35	宿泊先の石巻市河南旭山農業体験実習館(コロボックルハウス)到着
		夜間、余震数回有
4月16日（土）	5:00	起床→濃霧の中、石巻日赤へ
	7:30	石巻赤十字病院にてエリアミーティング
		エリア14(牡鹿半島)を3チームで分担
		・東海大学病院チーム(エリアリーダー)
		・高知日赤チーム
		・自衛隊
		※東海大・日赤が半島北部、
		自衛隊が道路事情の悪い南部を担当)
		※満潮時に道路が冠水するため活動制限あり。
		本日の満潮時刻 １４：３４ 、潮位　１２０cm
	8:00	石巻日赤を出発。東海大学を先導に荻浜小中へ。
		荻浜中にて東海大学チームと別れ、レストラン瑞幸避難所へ向かう。
	9:00	途中、桃浦にて対向車両に呼び止められ、色川宅避難所へ。
		80歳代の女性の容態が急変したとのこと。診療。
	9:30	病院搬送のため救急隊を要請。救急隊到着後、CPAとなる。
	10:00	石巻日赤へ搬送、岩村医師同乗。
	10:30	レストラン瑞幸避難所へ。アセスメント、血圧測定。
	11:20	再度、桃浦色川宅避難所へ。血圧測定。岩村医師と合流。
	14:30	東海大学チームとミーティング
	17:00	活動終了　　*合計 7 名を診察*
	18:10	宿泊先の旭山コロボックルハウスへ帰る

連絡時間を利用し、軽い昼食(羽田空港)

石巻日赤到着報告後、
オリエンテーションを受ける。

各県の赤十字が
宿泊していた。
(写真は１８日朝撮影)



廊下で資料を調達

３チームによるエリアミーティングに参加。(石巻日赤会議室)

海側の道路が通行不能
のため、急坂を登る。

日付	時間	活動内容
4月17日（日）	5:00	起床
	7:30	石巻赤十字病院にてエリアミーティング
		・東海大学病院チーム(エリアリーダー)
		・高知日赤チーム
		・自衛隊
		本日の満潮時刻　１５：２８　、潮位　１２５cm
	8:15	石巻日赤を出発
	9:10	荻浜小にて、東海大医師、看護師各1名合流。
		総勢9名のチームとなる。
	9:55	荻浜中にて診療開始。
		余震2回有り。(10:38,11:22)
	11:35	荻浜中を撤収。小網倉へ往診。
	13:55	石巻日赤着。
	15:00	東海大とミーティング。
		現東海大チームは任務完了。次の班と交替となる。
	16:30	本日の活動終了。
		合計 8 名を診察
	16:35	給油後、宿泊所へ。国道108号渋滞。
	17:50	宿舎コロボックルハウス着。
4月18日（月）	5:00	起床。朝食後、宿舎を撤収。
	7:00	石巻日赤着。トラックの荷物積み替え。
	7:30	エリアミーティング。東海大は新チームに。
		・東海大学病院チーム(エリアリーダー)
		・高知日赤チーム
		・自衛隊
		本日の満潮時刻　１６：１９　、潮位１２７cm
	8:08	石巻日赤を出発。
	9:30	蛤浜避難所着。診療開始。13名診療(うち1名往診)。
	11:30	蛤浜避難所での診察終了。よもぎモチとコーヒーを頂く。感謝。
	11:50	法音寺避難所着。昼食。温かいうどんを頂く。感謝。
	13:00	診療開始。12名診療。
		法音寺山頂付近へ案内して頂く。万石浦が一望に。
	15:30	石巻日赤へ帰着。東海大とミーティング。報告書作成。
	17:00	石巻日赤災害対策本部へ任務完了報告。撤収。　　*合計 25 名を診察*
	21:30	宿泊先のホテルルートイン北上駅前へ到着
4月19日（火）	10:00	ホテルルートイン北上駅前出発。天候雨。
	11:30	秋田空港着。給油。空港内で昼食。
	14:15	13:35発の東京便、落雷のため欠航が決まる。
		空港内にて秋田日赤宮下院長先生よりねぎらいの言葉を頂く。
	19:45	東京便に搭乗。21:00羽田着。
	21:45	羽田エクセル東急泊。
	23:10	地震(都内震度４)。
4月20日（水）	7:25	羽田空港発→高知龍馬空港
	8:55	高知龍馬空港着
	9:30	病院到着
		到着式、記者会見後、第10班へ引き継ぎを行う。

本日は合同チームで活動

音楽室を仮設診療所に。(荻浜中)

校舎の時計は、地震発生の時間で止まっていた。(荻浜中)

道路はあちこち陥没があり、走行に注意を要した。(牡鹿半島)

東海大学チームは次の班と交替へ。

避難所となっている集会所まで、がれきの上に畳で道がつけられていた。(蛤浜避難所)

法音寺から万石浦を望む。
潮が満ち始めていた。↓

短い活動期間ながら被災地を後にせざるをえず、胸が痛んだ。また、厳しい条件の中であっても、皆さんが前向きに進んでいこうとする姿に心を打たれた。活動期間中、あちこちで「ご苦労様です。」「がんばってください。」と声をかけて頂き、大いに励みになった。